

平成18年1月15日

発行 青梅市文化財保護指導員連絡協議会

青梅市郷土博物館

(青梅市駒木町1-684 Tel0428-23-6859)

## 日本犬の起源

新年第1号の「文化財ニュース」は、成年にちなんで日本犬のルーツを探ってみることにしましょう。

イヌの学名は、*Canis familiaris* といいますが、その祖先はオオカミで、イヌとは交雑で子供ができるくらいに近い関係であり、DNAを調べても大変近い関係のようです。

イヌのグループの祖先は、アラビアオオカミまたはインドオオカミと推定されていますが、ユーラシア大陸東部ではチョウセンオオカミと交雑したイヌのグループが成立し、家畜化されたと考えられています。

イヌは人間にとって最初の家畜で、最古のイヌの骨は約3万年前に西アジアから発見されています。2万年前になるとユーラシア大陸の各地で発掘され、1万2000年前には墓に埋葬されたイヌの骨が見つかっています。墓に埋葬されたということは、既に家畜として大切にされていたと考えられます。

日本で発掘された最も古いイヌの骨は神奈川県横須賀市夏島貝塚から出土した9400年前のもので、日本犬の最初の祖先は、縄文人と共に日本列島に渡ってきたと考えられています。狩猟・採集を生活の主な手段とする縄文人にとって、狩猟生活を支える助手としてイヌは極めて重要な家畜であったと思われます。愛媛県上黒岩岩陰遺跡(8600年前)からは埋葬された最も古いイヌの骨が発掘されています。

当時、日本列島にはニホンオオカミが生息していましたが、ニホンオオカミとイヌの中間型の骨が出土していないことから、ニホンオオカミは日本犬の祖先にはなっていないと考えられています。日本列島にイヌが入って来た時には、既にオオカミとイヌは種が分かれているので、お互いに同種として認知しない隔離作用が働いたか、交雑しても繁殖能力を持たない雑種第1代[F<sub>1</sub>(first filial generation)]しか出来ない状態にあったと考えられます。

古文書にはしばしば「ヤマイヌ」の記述が出てきますが、「ヤマイヌ」の表現には、①オオカミと同義、②イヌの再野生化集団、③狂犬病のイヌ、が混在して使われていて、ヤマイヌ、即オオカミとは断定できないようです。

弥生時代になると、遺跡から埋葬されたイヌの骨は発掘されなくなります。また、弥生時代の発掘されたイヌの骨には傷があり、ばらばらの状態で見つかります。このことは、弥生時代になってイヌを食べる習慣を持つ人の集団が日本に入ってきたことを示しています。

(裏面に続く)

さらに古墳時代になると、イヌの骨はほとんど発掘されなくなります。しかし、天武4年(675)には、ウシ、ウマ、イヌ、ニワトリ、サルを食べないようにとの禁令が出され、その後もこの禁令は繰り返し出されているので、イヌを食べる習慣はずっと続いていたことがわかります。江戸時代にも、5代将軍綱吉の時代を除いてイヌは多量に食べられていたようです。ちなみに、西洋犬が大量に入ってきたのは明治維新以降のことです。

日本犬というのは、イヌという種の中の品種で、北海道犬、秋田犬、甲斐犬、紀州犬、四国犬、柴犬、琉球犬、チンの8品種に分けられています。このうち、北海道犬、秋田犬、甲斐犬、紀州犬、四国犬、柴犬の6品種は天然記念物に指定されています。指定にもれているのは琉球犬とチンですが、琉球犬は最近再発見されたものです。いずれも、日本で品種が形成されたことから日本の在来種とされていますが、元々、イヌが日本列島に棲みついていたわけではありません。

最近では、イヌの血液中にあるタンパク質の型を支配する遺伝子を調べることにより、朝鮮半島をはじめ世界各地の犬と、日本犬の各品種との類縁関係がわかってきています。その結果、日本列島に最初に入ってきたイヌは、南方から縄文人に連れて来られて、縄文時代に北海道まで分布を広げたと推定されています。その後、弥生時代から古墳時代にかけて弥生人や古墳時代の移住民により朝鮮半島から連れられて新しい型のイヌが入ってきます。この時代に渡来したイヌの分布拡散は、北海道や琉球列島にはまったくか、ほとんど及ばなかったため、琉球犬と北海道犬(アイヌ犬)は、弥生・古墳時代に渡来した新しい型のイヌと混血することなく、縄文時代に渡来したイヌの形質を色濃く残しています。本州・四国・九州の日本犬種は、縄文時代に渡来したイヌと弥生・古墳時代に渡来したイヌとの混血によって成立した犬群の子孫であると考えられています。

このように、犬の遺伝子の導入ルートは、日本列島へのヒトの渡来のルートを推定する材料にもなります。

#### 〈参考文献〉

田名部雄一「日本犬」(平凡社:1996「日本動物大百科 第1巻 哺乳類I」所収)

(文責 久保田繁男)